
宮古島東急ホテル&リゾート

安全運航への取り組みについて

2022年 7月 18日 策定

2024年 2月 21日 追記

船舶運航マニュアル15項・16項

2025年12月30日 更新

安全運航への取り組みについて

【基本方針】

宮古島東急ホテル＆リゾートが運営する「旅客不定期航路事業」は、関係法令等を遵守し、経営トップが定める明確な安全方針に基づき、安全最優先の旅客輸送サービスを提供し続けるために、以下、適切な運航基準を定め、これを運営の基本方針とする。

【策定目的】

安全な運航基準を定めることで、責任体制及び業務実施の基準を明確化し、社内に安全最優先意識の徹底を図り、全従業員がこれを周知して実行する事で、当社の運航する旅客船業務を適正かつ安心・安全に滞りなく進めることを目的とする。

【策定方法】

経営トップ並びに安全統括管理者、運航管理者、運航管理補助者との協議、立案により定め、また、関係省庁に承認された「安全管理規定」、「運航基準」、「作業基準」、「事故処理基準」、「地震防災対策基準」を元に、当社独自の運航基準を策定する。

運航基準について

第一条〔目的〕

この基準は、安全管理規定に基づき、与那覇前浜沖遊覧航路の船舶の運航に関する基準を明確にし、もって航海の安全を確保することを目的とする。

第二条〔発航の可否判断〕

船長は、発航前において、港内並びに航行中に遭遇する気象・海象に関する情報を確認し、次に掲げる条件に達していると認める時は発航を中止し、旅客の下船並びに保船措置、その他適切な措置をとることとする。

航行地区	風 速	波 高	視 程
前浜港及び周辺海域	7m/s以上	港内 0.7m以上 海域 1.5m以上	300m以下

運航基準について

第三条〔基準航行の可否判断等〕

船長は航行中、周囲の気象・海象に関する情報を確認し、次に掲げる条件に達する恐れがあると認める時は、基準航行を中止し、減速、適宜の経路変更、反転、臨時寄港、航路外錨泊などの措置をとることとする。このような事態が発生する恐れのある海上模様は下記の通り。

風 速	波 高	視 程	動 揺
7m/s以上	1.5m以上	300m以下	横揺れ 15度以上

第四条〔入港及び運航の可否判断〕

船長は航行中、入港予定港内の気象・海象に関する情報を確認し、次に掲げる条件に達する恐れがあると認める時は、入港を中止し、適宜海域での錨泊、抜港、臨時寄港などの措置をとることとする。このような辞退が発生する恐れのある港内模様は下記の通り。

風 速	波 高	視 程
7m/s以上	0.7m以上	300m以下

運航基準について

第五条〔航海当直配置等〕

船長は、運航管理者と協議し、出入港の配置を定め、安全な港内運航を実行することとする。

第六条〔運航基準図等〕

第七条〔基準経路〕

第八条〔速力基準等〕

運航管理者は、運航基準図、基準経路、速力基準等を事前に定め、船長はそれを遵守する。
尚、運航基準図に記載すべき事項は下記の通り。

船長は、基準経路、避険線その他必要と認める事項を常用海図に記入して航海の参考にすると共に、速力基準表、旋回性能、惰力等を記載した操縦性能表を船橋に備え付けておく。

起点終点、航行経路、航行速力、運航回数、発着時刻、運航時期、運航に関する必要事項等

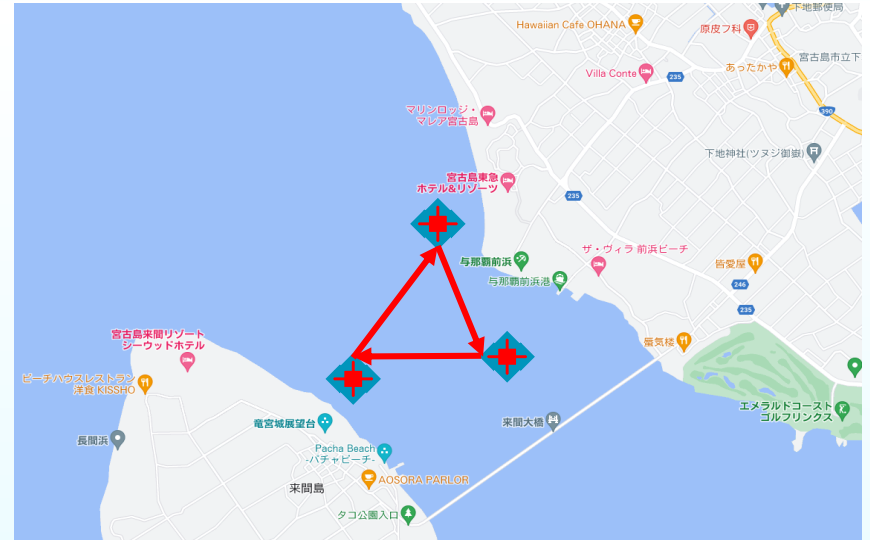
運航基準について

ゴールデンベル〔大型双胴ヨット〕



起点終点：宮古島東急ホテル&リゾート・前浜ビーチ桟橋
航行経路：上記マップ参照
航行速力：6ノット〔1800rpm〕
運航回数：1回／一日〔予約状況による〕
発着時刻：18時前後〔季節により変動〕
運航時期：通年
備考：当日の海況により来間島よりのコースを航行する可能性あり。
セイリングについては当日の風向き、風速により判断し、常に動力での運航ができる状態にする。

ジーンカプラン〔グラスボート〕



起点終点：宮古島東急ホテル&リゾート・前浜ビーチ桟橋
航行経路：上記マップ参照
航行速力：10ノット〔2800rpm〕
運航回数：6回／一日〔季節により変動〕
発着時刻：8～17時前後〔季節により変動〕
運航時期：通年
備考：当日の海況により来間島よりのコースを運航、また鑑賞ポイントを変更する可能性あり。
海況により時間を短縮する可能性あり。

第九条〔連絡方法〕

船長は、運航管理者又は運航管理補助者と業務用無線もしくは衛星電話で、常時、連絡が取れる状況にしておく。

第十条〔機器点検〕

船長は、入港着岸前、栈橋手前300m付近の安全な海域において、機関の後進、舵操作など入港時に必要な事項の点検を実施する。

第十一条〔記録〕

船長及び運航管理者は、航行時において、基準航路の変更などに関し、協議を行った場合はその内容を運航管理日誌に記録する。

安全の係る情報の提供について

① 安全設備

ゴールデンベル〔大型双胴ヨット〕

救命設備

船舶全景



自己点火灯



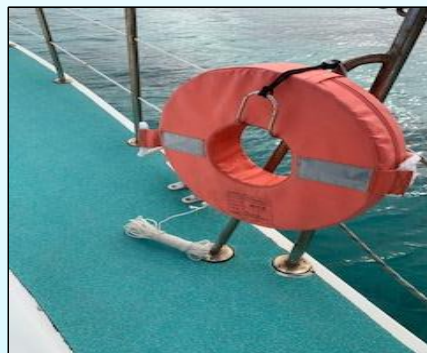
救命胴衣置場



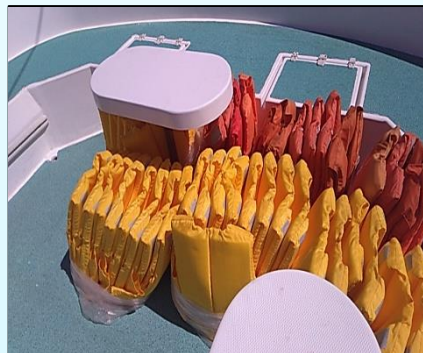
救命浮器



救命浮環



救命胴衣



通信設備

業務用無線



衛星電話



安全に係る情報の提供について

① 安全に係る設備

ジーンカプラン〔グラスボート〕

救命設備

船舶全景



救命浮環



救命胴衣



救命胴衣は、船内両舷乗船者の目に設置

救命胴衣



船内放送設備



通信設備

業務用無線



衛星電話

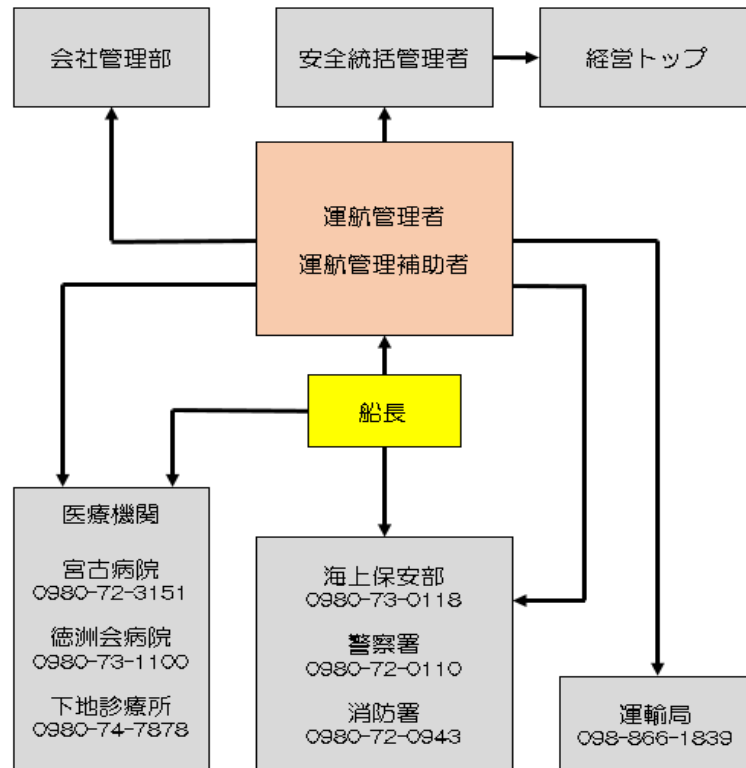


安全に係る情報の提供について

② 緊急時の通信手段と連絡網

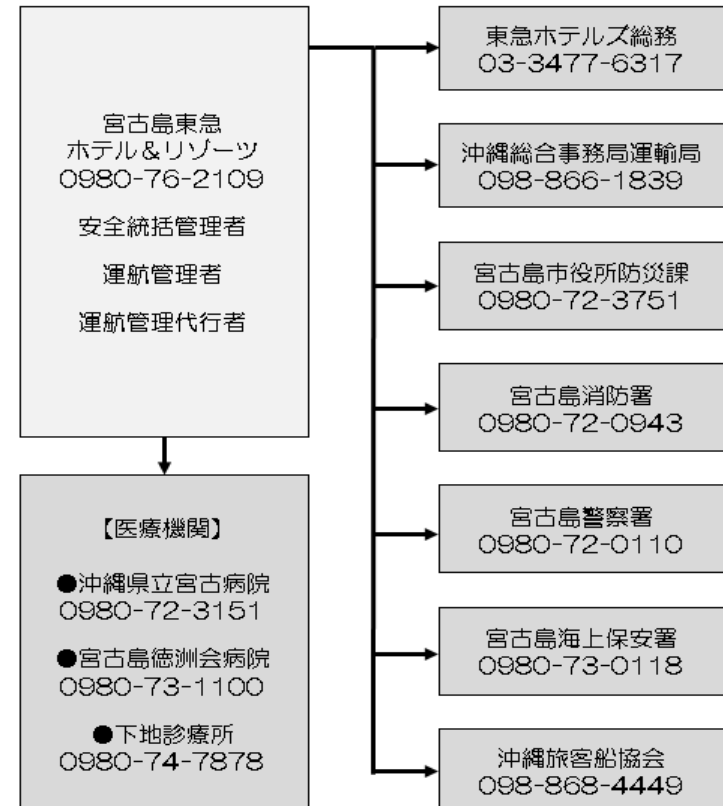
〔業務用無線及び衛星電話〕

【非常連絡表】



※非常連絡は、原則として上記の表に基づくが、事故の内容によっては、運行管理者の判断により、運輸局等や海上保安部等を除き、連絡範囲を指定することもできる。

【情報伝達経路】



※安全統括管理者は、伝達が十分に行き渡っているかの確認を中心となり行う。

安全に係る情報の提供について

③ 船舶検査の受検状況〔検査証写し〕

ゴールデンベル〔大型双胴艇ヨット〕

船 舶 検 査 証 書		
第2-469号		
船 種 及 び 船 名	船舶番号、船舶検査済票の番号又は漁船登録番号	船 籍 港 又 は 定 係 港
ヨット ゴールデンベル	第293-37125号	沖縄県宮古島市
総トン数又は船舶の長さ	用 途	船 舶 所 有 者
10 トン (11.35メートル)	プレジャーヨット (旅客船)	株式会社東急ホテルズ
航行区域又は従業制限	沿海区域 ただし、船舶安全法施行規則第1条第6項第19号の水域から12海里以内の水域、沖縄県宮古島市伊良波港及び同県同市博愛港の各港から12海里以内の水域並びに船舶安全法施行規則第1条第6項の水域に限る。	
最大乗客数	乗 客	24人
乗客数	船 員	3人
乗客数	その他の乗船者	0人
乗客数	計	32人
制限圧		
その他の航行上の条件		
有効期間	令和11年4月8日 まで	
船舶安全法第9条第1項の規定により交付する。 令和6年4月9日 (沖縄)		
日本小型船舶検査機構		

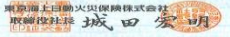
ジーンカプラン〔グラスボート〕

船 舶 検 査 証 書		
第2-1013号		
船 種 及 び 船 名	船舶番号、船舶検査済票の番号又は漁船登録番号	船 籍 港 又 は 定 係 港
グラスボート ジーンカプラン	第296-18285号	沖縄県宮古島市
総トン数又は船舶の長さ	用 途	船 舶 所 有 者
5トン未満 (9.90メートル)	旅客船	株式会社宮古島東急ホテル&リゾート
航行区域又は従業制限	平水区域	
最大乗客数	乗 客	24人
乗客数	船 員	2人
乗客数	その他の乗船者	0人
乗客数	計	26人
制限圧		
その他の航行上の条件	日役から日没までの間の航行を禁止する。	
有効期間	令和9年7月7日 まで	
船舶安全法第9条第1項の規定により交付する。 令和4年7月8日 (沖縄)		
日本小型船舶検査機構		

安全に係る情報の提供について

④-1 損害賠償保険に関する内容〔ゴールデンベル／大型双胴艇ヨット〕

総合保険証券	
補償項目・保険金額・免責金額	
船体	
保険金額	1,881千円
免責金額	190千円
賠償責任	
保険金額	100,000千円
免責金額	1千円
搭乗者傷害	
普通条件	
保険金額（1名）	5,000千円
保険金額（1事故）	40,000千円
死亡・後遺障害	
保険金額（1名）	5,000千円
保険金額（1事故）	40,000千円
捜索救助費用	
保険金額	2,000千円
保険対象船舶	
☆船種	ヨット
☆縦長	8 m超13 m以下
★船名・型式	42FTゴールデンベル
★船体番号	ヤマ-AJH3E
保険価額	14,659千円

船客傷害賠償責任保険証券	
	
保険期間 令和 7年 6月 3日午前 0時から 令和 8年 6月 2日午後 12時まで（1年間）	
明細数	2
保険料のお払込み内容	
保険料	総払込保険料 134,620円 ※総払込保険料は満期まで保険料が払い込まれた場合の総払込金額を表示しております。
払込方法	請求書払（一時払）
保険料払込期日	初回払込保険料 満期以降は総払込保険料 保険始期の属する月の翌月（令和 7年 7月）末日
取扱営業店・代理店	
営業店	1917 本営 3部市開発
契約者／団体	XLK11
代理店／仲立人	2109 東急保険コンサルティング
代理店統番	3114023
補償内容	
明細番号：00002	
保険料	
1 回分保険料	
被保険者	
被保険者名	
☆カナ	KK ミヤコジマトウキユウホテル&リゾート
☆漢字	株式会社宮古島東急ホテル&リゾート 様
被保険者数	1名
対象の船舶	
☆船名（カナ）	ヨット 42FTセーリングカタマラン ヤンマー4JH3E
☆船名（漢字）	ヨット 42FTセーリングカタマラン ヤンマー4JH3E
☆船客定員数	29名
☆船舶数	1隻
☆用途	旅客船
☆船質	その他
☆船質（その他の場合）	強化プラスチック製
☆船齢	22歳
☆総トン数	10トン
☆主航路	沿海区域
明細精算区分	
明細精算区分	保険料精算不要
支払限度額	
賠償責任（1名あたり）	50,000千円
賠償責任（1事故あたり）	1,450,000千円
救助費（1事故あたり）	8,700千円

安全に係る情報の提供について

④-2 損害賠償保険に関する内容〔ジーンカプラン／グラスボート〕

総合保険証券

補償内容		明細番号：00002
保険料		
船体保険料（1回分）	305,240円	
賠償責任保険料（1回分）	8,290円	
搭乗者傷害（普通条件）保険料（1回分）	40,950円	
搭乗者傷害（死亡・後遺障害）保険料（1回分）	32,750円	
捜索救助費用保険料（1回分）	4,010円	
保険対象船舶		
☆船種	その他船舶（動力機関を有するもの）	
☆馬力	50馬力以下	
★船名・型式	ジーンカプランFRP製	
★船体番号	D36AULEPJ	
保険価額	4,500千円	
保管場所		
☆主たる保管場所	宮古島東急ホテル&リゾートマリンスクール施設内	
☆構造	屋外	
用途		
☆用途	営業用	
被保険者		
被保険者（船体）		
★カナ	KK ミヤコジマトウキユウホテル&リゾート トリシマリヤク イイツカ マサト	
★漢字	株式会社宮古島東急ホテル&リゾート 取締役 飯塚 雅人 様	
被保険者（賠償責任）		
★カナ	KK ミヤコジマトウキユウホテル&リゾート トリシマリヤク イイツカ マサト	
★漢字	株式会社宮古島東急ホテル&リゾート 取締役 飯塚 雅人 様	
補償項目・保険金額・免責金額		
船体		
保険金額	4,500千円	
免責金額	450千円	
賠償責任		
保険金額	100,000千円	
免責金額	1千円	
搭乗者傷害		
普通条件		
保険金額（1名）	5,000千円	
保険金額（1事故）	130,000千円	
死亡・後遺障害		
保険金額（1名）	5,000千円	
保険金額（1事故）	130,000千円	
捜索救助費用		
保険金額	2,000千円	
担保地域		
担保地域	日本国内の陸地から200km以内の水域および内陸	

船客傷害賠償責任保険証券

補償内容		明細番号：00001
保険料		
1回分保険料		
被保険者		
被保険者名		
☆カナ	KK ミヤコジマトウキユウホテル&リゾート トリシマリヤク イイツカ マサト	
☆漢字	株式会社宮古島東急ホテル&リゾート 取締役 飯塚 雅人 様	
被保険者数	1名	
対象の船舶		
☆船名（カナ）	グラスボート ジーンカプランFRPセイ（D36AULEPJカタエンジントウサイ）	
☆船名（漢字）	グラスボート ジーンカプランFRP製（D36AULEPJ型エンジン搭載）	
☆船客定員数	24名	
☆船舶数	1隻	
☆用途	旅客船	
☆船質	その他	
☆船質（その他の場合）	強化プラスチック製	
☆船齢	24歳	
☆総トン数	4トン	
☆主航路	平水区域	
明細精算区分		
明細精算区分	保険料精算不要	
支払限度額		
賠償責任（1名あたり）	40,000千円	
賠償責任（1事故あたり）	960,000千円	
救助費（1事故あたり）	7,200千円	
その他契約条件		
適用地域	日本を含む全世界	
特約条項		
名称	運航責任追加担保特約条項（自動付帯）	
名称	サイバー攻撃危険不担保特約条項（自動付帯）	
明細合計保険料		
総払込保険料		

安全の係る情報の提供について

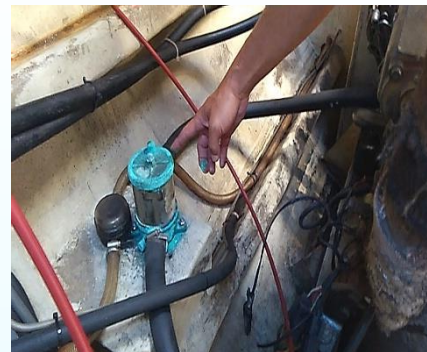
⑤ 安全性向上に向けた自主的な取組

救命救急講習会



毎年シーズン前に開催

船舶出航前点検



毎日の出航前点検状況

安全に係る情報の提供について

⑥ ビーチハウス、レジャーカウンター並びに船内における掲示物各種

運航可と判断した海況情報



気象・海象による運航中止基準

〔風速〕

7m/s以上

〔波高〕

1.5m以上

〔視程〕

300m以下

〔動揺〕

横揺れ 15度以上

緊急時対応・救命具取扱い

救命胴衣格納場所

◎救命胴衣(固型式首掛けタイプ)着用説明
Donning Manual of life Jacket(Solid and Over-head type)



- 〈1〉頭を通して下さい
〈1〉 Place head through opening.
- 〈2〉胸紐を腰にまいて下さい
〈2〉 Pull waist tape and cross at back.
- 〈3〉前で結んで下さい
〈3〉 and tie on the front.

◎救命胴衣(固型式チョッキタイプ)着用説明
Donning Manual of life Jacket(Solid and Vest type with fastening type)



- 〈1〉腕を通して下さい
〈1〉 Put on the jacket by your arms through arm-holes.
- 〈2〉胸紐を結んで下さい
〈2〉 Fasten tape on the chest tightly.
※ファスナーの場合は、ファスナーを締めて下さい。
※※股掛タイプは股ヒモを通して固定して下さい。

小型船舶関連事業協議会

安全の係る情報の提供について

⑦運航マニュアル

天候・船舶の確認

- ・運航確認表の運航基準内かを確認する。
- ・風向き、潮位により天気予報通りで無いと思われる場合は、風速計を使い確認する。
- ・船舶運航前点検表の確認事項を確認、船舶に不良が無いか確認する。
- ・受付に運行状況を伝える。

乗船時の案内

- ・出航前は、必ず入り口に立ちお客様を受け入れる。
- ・浮き桟橋の為風や波の影響を受けることがあるのでガラスボートの入り口で足元を気を付けて乗船頂くよう案内する。
- ・乗船後は停泊中であっても船が揺れることがあるので手すりを持ったり、ガラスごとに区画が分かれてる場所もある為足もとを注意するようにお客様に案内する。
- ・受付と人数確認後、入り口のチェーンなど締め忘れが無いか確認する。

安全に係る情報の提供について

⑦運航マニュアル

乗船後の案内

- ・お客様にご挨拶、自己紹介後、ポイントまでの過ごし方の案内をする。
- ・ライフジャケットの格納場所、緊急時は、船長の指示に従って行動して頂くよう案内。

下船時の案内

- ・栈橋接岸時は、船が揺れる時がある為船長の案内が有るまでは、席に座って頂くように案内する。
- ・栈橋着岸後ロープでしっかり固定が出来ていることを確認し下船の案内をする。
- ・下船時は、乗船時同様出口で足元を気を付けて頂くよう案内する。
- ・下船後も栈橋が揺れていることがある為栈橋を降りるまで注意して頂くよう案内する。